



確定申告の準備方法

確定申告の**3**つのステップ：
集める、準備する、提出。

1. 集める

必要な情報を収集します。

以下のチェックリストに従って、確定申告書に正しい情報が含まれていることを確認してください。

7月1日から6月30日までの収入年度の情報が
必要です。

2. 準備する

確定申告の方法を決めます。

ご自分で確定申告を行う場合は、[myTax](#) (英語表示)を使用してオンラインで提出するか、[ハードコピーの確定申告書](#) (英語表示)を使用できます。

[myTax](#) を使用するには、[myGov](#) のユーザー ID とパスワードが必要です。[myGov](#) アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを設定して、[my.gov.au](#) (英語表示)でATO(オーストラリア国税局)にリンクできます。

公認税理士を使用して申告する場合は、彼らと話すために予約をする必要があります。

3. 提出する

期日までに確定申告書を提出してください。

ご自分で確定申告をする場合は、毎年10月31日までに提出する必要があります。

確定申告には

どのような情報が必要ですか。

次のものがが必要です。

- tax file number (タックスファイル番号、TFN)
- 払い戻しがある場合に備えて、銀行口座の詳細 (BSB と口座番号)
- あなたの収入についての詳細:
 - すべての雇用主または [myGov](#) アカウントからの収入明細書
 - 政府([Centrelink](#) など)からの支払い概要
 - 投資収益(銀行取引明細書の利息、株式配当金計算書など)
 - 海外所得(海外での就労や投資など)
 - その他の収入(現金支払いの仕事、賃貸物件など)
- 控除と経費の詳細:
 - 業務関連経費の記録(領収書、ログブック、在宅勤務の証拠など)
 - 適格な慈善団体やその他の組織への贈答品や寄付金の領収書
- 配偶者(既婚または事実上)の課税対象所得を含む詳細。

公認税理士のサポートを受けている場合は、10月31日までにその税理士との作業を開始する必要があります。

公認税理士は、確定申告を提出するために手数料を請求することを許可された唯一の人です。税理士が公認であるかどうかは、tpb.gov.au(英語表示)で確認できます。

提出する最適なタイミングはいつですか？

雇用主、銀行、その他の事業は、納税者に支払う収入についての詳細を提供します。7月下旬まで待っていただいた場合、これらの詳細が確定申告書に記載されます。これにより、確定申告をより迅速かつ簡単に行うことができます。

ご自分で確定申告をされる場合は、7月1日から10月31日までに申告する必要があります。

適切な記録保持により、税務作業が楽になります

各所得年度の初めから記録を残しておくことで、確定申告がしやすくなります。給与明細および確定申告に含めるべきすべての控除の領収書を保管してください。銀行取引明細書(単独)では、通常、仕事関連の費用の控除を請求するのに十分な証拠ではありません。

記録は安全な場所に保管してください。ATO アプリの myDeductions ツールが役に立ちます。詳細については、ato.gov.au/app(英語表示)をご覧ください。

お問い合わせ先

詳細については、ato.gov.au/TaxTimeResources の ATO ウェブサイト(英語表示)をご覧ください。

また、公認税理士に相談することもできます。

免責事項： この情報はあくまでも一般的な要約であり、2024年3月26日現在のものです。

この資料を自由にコピー、適応、変更、送信、および配布することができます(ただし、ATO または Commonwealth(連邦政府)がお客様またはお客様のサービスまたは製品を推奨していることを示唆するものであってはなりません)。